

医師の負担軽減及び処遇改善の取組

項目	具体的な取組
検査説明業務移管による業務軽減	入院支援チームの活用で、事前情報の集約を図り、医師の負担軽減を図る。
薬剤師による病棟患者の持参薬を含めた処方管理及び服薬指導実施	病棟薬剤師のさらなる活用で、医師の負担軽減を図る。
放射線科医遠隔読影の活用	遠隔読影を積極的に活用し、診療の枠を拡大する。
電子カルテ導入を通じた間接業務負担軽減	さらなるペーパレス化の推進とシステムの有効活用により、医師の負担軽減を図る。
医師事務作業補助体制の充実	ドクタークラークの陪席を増やし、医師の負担軽減を図る。
医師確保による負担軽減	医師の負担軽減実現のために必要な人数の医師を確保し、医師一人ひとりの負担を軽減する。
子育て中の医師に配慮した勤務体制の実現	院内保育園の完備と充実により子育て中の医師が勤務しやすい環境を整備する
時間単位年休の取得	医師が時間年休を取得しやすい環境を整備する。
バースディ休暇、ショートバケーション休暇の取得	年間休暇取得日数5日以上、バースディ、ショートバケーション休暇も取得しやすい環境を整備する。